

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成20年3月6日(2008.3.6)

【公開番号】特開2002-215116(P2002-215116A)

【公開日】平成14年7月31日(2002.7.31)

【出願番号】特願2001-14959(P2001-14959)

【国際特許分類】

G 0 9 G	3/36	(2006.01)
G 0 2 F	1/133	(2006.01)
G 0 2 F	1/1333	(2006.01)
G 0 9 G	3/20	(2006.01)

【F I】

G 0 9 G	3/36	
G 0 2 F	1/133	5 0 5
G 0 2 F	1/1333	
G 0 9 G	3/20	6 3 2 Z
G 0 9 G	3/20	6 7 0 K

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月21日(2008.1.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 液晶に電位を印加して光学特性を制御し画像表示を行う液晶表示装置において、

液晶に印加する絶対値電位が固定状態の場合、当該液晶に印加する電位を定期あるいは不定期に液晶が透過率変化を起こす閾値電圧以下の電位まで下げる電圧制御手段を有することを特徴とする液晶表示装置。

【請求項2】 上記電圧制御手段は、画像の黒レベル又は白レベルを検出した場合、当該黒レベル又は白レベルの液晶に電位を与えないことを特徴とする請求項1記載の液晶表示装置。

【請求項3】 列状の信号電極を備えた表示セルと、行状の放電チャンネルを備えたプラズマセルとが重ね合わされてなるプラズマアドレス表示装置であることを特徴とする請求項1記載の液晶表示装置。

【請求項4】 液晶に電位を印加して光学特性を制御し画像表示を行う液晶表示装置を駆動するに際し、液晶に印加する絶対値電位が固定状態の場合、当該液晶に印加する電位を定期あるいは不定期に液晶が透過率変化を起こす閾値電圧以下の電位まで下げることを特徴とする液晶表示装置の駆動方法。

【請求項5】 画像の黒レベル又は白レベルを検出した場合、当該黒レベル又は白レベルの液晶に電位を与えないことを特徴とする請求項4記載の液晶表示装置の駆動方法。

【請求項6】 上記液晶表示装置は、列状の信号電極を備えた表示セルと、行状の放電チャンネルを備えたプラズマセルとが重ね合わされてなるプラズマアドレス表示装置であることを特徴とする請求項4記載の液晶表示装置の駆動方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

【課題を解決するための手段】

上述の目的を達成するために、本発明の液晶表示装置は、液晶に電位を印加して光学特性を制御し画像表示を行う液晶表示装置において、液晶に印加する絶対値電位が固定状態の場合、当該液晶に印加する電位を定期あるいは不定期に液晶が透過率変化を起こす閾値電圧以下の電位まで下げる電圧制御手段を有することを特徴とするものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

また、本発明の駆動方法は、液晶に電位を印加して光学特性を制御し画像表示を行う液晶表示装置を駆動するに際し、液晶に印加する絶対値電位が固定状態の場合、当該液晶に印加する電位を定期あるいは不定期に液晶が透過率変化を起こす閾値電圧以下の電位まで下げることを特徴とするものである。